



子宮頸がん予防ワクチンは、初回接種から1カ月後と6カ月後の合計3回接種をします。3回接種することで十分な予防効果が得られるため、きちんと最後まで接種することが重要です。



●指定医療機関 ※必ず事前予約をして、受診してください。

医療機関名	住所	電話番号	医療機関名	住所	電話番号
いけざわこどもクリニック	野々島2461	242-6633	ナカシマセブンクリニック	須屋1415-5	288-0777
池田クリニック	幾久富1866-1332	248-8600	成松内科医院	須屋1840-10	345-5151
大森医院	竹迫1983-2	248-0003	まつもとこどもクリニック	須屋264-4	338-8960
緒方整形外科医院(15歳以上)	幾久富1758-690	248-8181	宮川内科医院	栄2497-10	248-2155
産科婦人科大竹クリニック	須屋680-1	344-3232	山岡胃腸科内科	幾久富1758-145	248-9001
須屋クリニック本田医院	須屋1205-1	344-4833	山下胃腸科クリニック	須屋1921	345-0600

※菊池市、大津町、菊陽町にも指定医療機関があります。詳しくはお問い合わせください。

元気をつくる養生塾 開催のお知らせ

「10年後も健康で自分らしく生活がしたい」とお考えの皆さんを対象に、食事や運動などの生活を見直し、適切な生活習慣を考える機会として「元気をつくる養生塾」を開催します。ぜひ参加してみませんか。

- 対象者 市内在住の30～70歳の人
※運動制限の無い人で、全日程に参加できる人が対象です。病気で治療中の人は主治医の承諾を得ている人に限ります。
- 定員 30人
- 申込方法 4月18日(月)～27日(水)までに電話でお申し込みください。定員になり次第、受付を終了します。
- 内容 生活習慣病の予防のための学習と運動の実践、血液検査など
※詳細は日程表をご覧ください。
- 申し込み・問い合わせ先 健康づくり推進課 健康推進班(西合志庁舎) ☎242-1183

●日程表

	とき	学習タイトル	体験テーマ	ところ
検査	5/10(火)	身体計測・血液検査・オリエンテーション		ふれあい館
1	5/18(水)	10年後もカッコいい・キレイなあなたのために -検査結果から自分を見つめよう明日から何をしますか?-	まずは体をほくしましよ! ストレッチ運動、体力測定(開眼片足立ち・上体起こし・持久力)	泉ヶ丘市民センター
2	6/1(水)	こっそり教えます 体のしくみ -血糖値・コレステロール値はどうすれば下がるの?-	姿勢よく歩く方法 ステップ運動	御代志市民センター
3	6/15(水)	コレステロールは奥が深い -真実を知っていますか? 増える理由と減らす方法-	『運動は楽しかばい!』 速歩・エアロビ・スクワット (健康運動実践指導者 佐々木誠市先生)	ふれあい館
4	6/29(水)	きっと筋トレしなくなる -筋肉のしくみと働き-	元気な明日のために貯筋しよう 筋力トレーニングのコツ	泉ヶ丘市民センター
5	7/20(水)	みなさん頑張っていますよ! -頑張りの報告会-	今までの自分の取り組みについての反省会	泉ヶ丘市民センター
検査	8/9(火)	身体計測・血液検査		ふれあい館
6	8/17(水)	元気な明日を目指しましょう! -これまでの取り組みの結果を確かめよう-	3カ月間の運動の効果を確かめよう 体力測定(開眼片足立ち・上体起こし・持久力)	ふれあい館

詳細は変更する場合があります。また、申込者には改めて詳しい内容とその他の資料を郵送します。

子宮頸がん予防ワクチンの接種費用の助成

本市では、任意の予防接種である「子宮頸がん予防ワクチン」の接種費用の助成を行ないます。現在、全国的にワクチンが不足している状態のため、初回接種者への接種を差し控え、すでに接種を開始した人への2回目・3回目の接種を優先して実

施しています。ワクチン供給が安定しましたら、広報こうしおよび市ホームページでお知らせします。初回接種を希望する人は、今しばらく接種をお待ちください。

このワクチン接種は、任意接種のため本人または保護者が希望する場合に行なうものです。接種の際は、予防接種の効果および副反応などについて十分ご理解のうえ、接種を希望するかご判断ください。なお、指定医療機関以外および実施期間外にワクチン接種を受けた場合の接種費用の助成はありません。

- 実施期間 4月1日～平成24年3月31日
- 持参するもの ・母子健康手帳または接種済証*
・住所が確認できるもの(健康保険証など)
- 対象者・接種料金 指定医療機関窓口で自己負担額*をお支払いください。

※母子健康手帳を紛失した人は、指定医療機関で接種済証を発行します。残りの予防接種を受ける際、必ず接種済証を指定医療機関に提出してください。

(単位:円/回)

ワクチン種別	対象者	接種費用	市助成額	自己負担額
子宮頸がん予防ワクチン	中学1年生～高校2年生相当の女子 (平成6年4月2日～平成11年4月1日生まれ)	15,900	12,900	3,000

※生活保護受給者には、全額助成します。事前に福祉課(西合志庁舎)で「生活保護証明」の発行を申請し(印かん持参)、証明を受け取り、接種する際に指定医療機関に提出してください。2回目以降を受ける際も、同様の手続きが必要です。

- 保護者の同伴について 予防接種には、原則として保護者が同伴してください。ただし、高校1年生以上で、やむをえず保護者が同伴できない場合は同意書が必要です。健康づくり推進課(西合志庁舎)で同意書を受け取り、接種の際に指定医療機関に提出してください。

子宮頸がん予防ワクチン

日本では年間約15,000人の女性が子宮頸がんにかかり、約3,500人が亡くなっているといわれており、近年20～30歳代の子宮頸がんが増えています。

子宮頸がんは、発がん性ヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスの感染が原因で起こる病気です。HPVは特別な人だけが感染するのではなく、多くの女性が一生のうち一度は感染するありふれたウイルスです。多くの場合、感染しても自然に排除されますが、ごく一部の人で感染した状態が長く続くと子宮頸がんを発症することがあります。

子宮頸がん予防ワクチンは、「ハイリスクHPV」と呼ばれるHPV16型とHPV18型の感染を予防するワクチンです。このワクチンにより、子宮頸がんの約70%を予防できると考えられています。しかし、他の型のHPVの感染を予防したり、すでに感染しているHPVを排除したり、治療することはできません。

ワクチンで防ぎきれなかった病変を早く見つけて治療

するためには、子宮頸がん検診が必要です。予防接種を受けた人も20歳を過ぎたら定期的に子宮頸がん検診を受診し、子宮頸がんからより確実にあなたの体を守りましょう。

